

駒場センシングフィールドの設置計画について

東京大学スポーツ先端科学研究拠点
拠点長 中澤公孝

【趣旨】

東京大学スポーツ先端科学研究拠点（UTSSI）では、本学で開発・蓄積してきた先端センシング技術を研究・教育・スポーツ実践に活用するための施設として、「UTSSI 駒場センシングフィールド」（仮称）を駒場キャンパス内（第2グラウンドおよびその南側三角地帯）に設置することを計画しています。この施設は、拠点における全学共用の研究施設として、新たなセンシング技術の開発等の基礎研究をはじめ、2018年度に開始した「新しいセンシング技術を応用したスポーツ動作の評価・向上システムの構築」等の研究プロジェクトを推進するために重要です。さらに、これらの研究により得られた成果を、国民の健康寿命延伸など、未来社会共創のための分野横断的課題の解決に向けて展開する予定です。また教育の場として、前期課程基礎科目「身体運動・健康科学実習」におけるテニス、ゴルフ、スポーツサイエンスなどの実習や、学部後期課程におけるバイオメカニクス実習などで利用する他、課外活動における競技力向上のためにも利用することが可能です。つきましては、本計画の趣旨をご理解いただき、本研究施設の設置をご承認いただきますようお願いいたします。

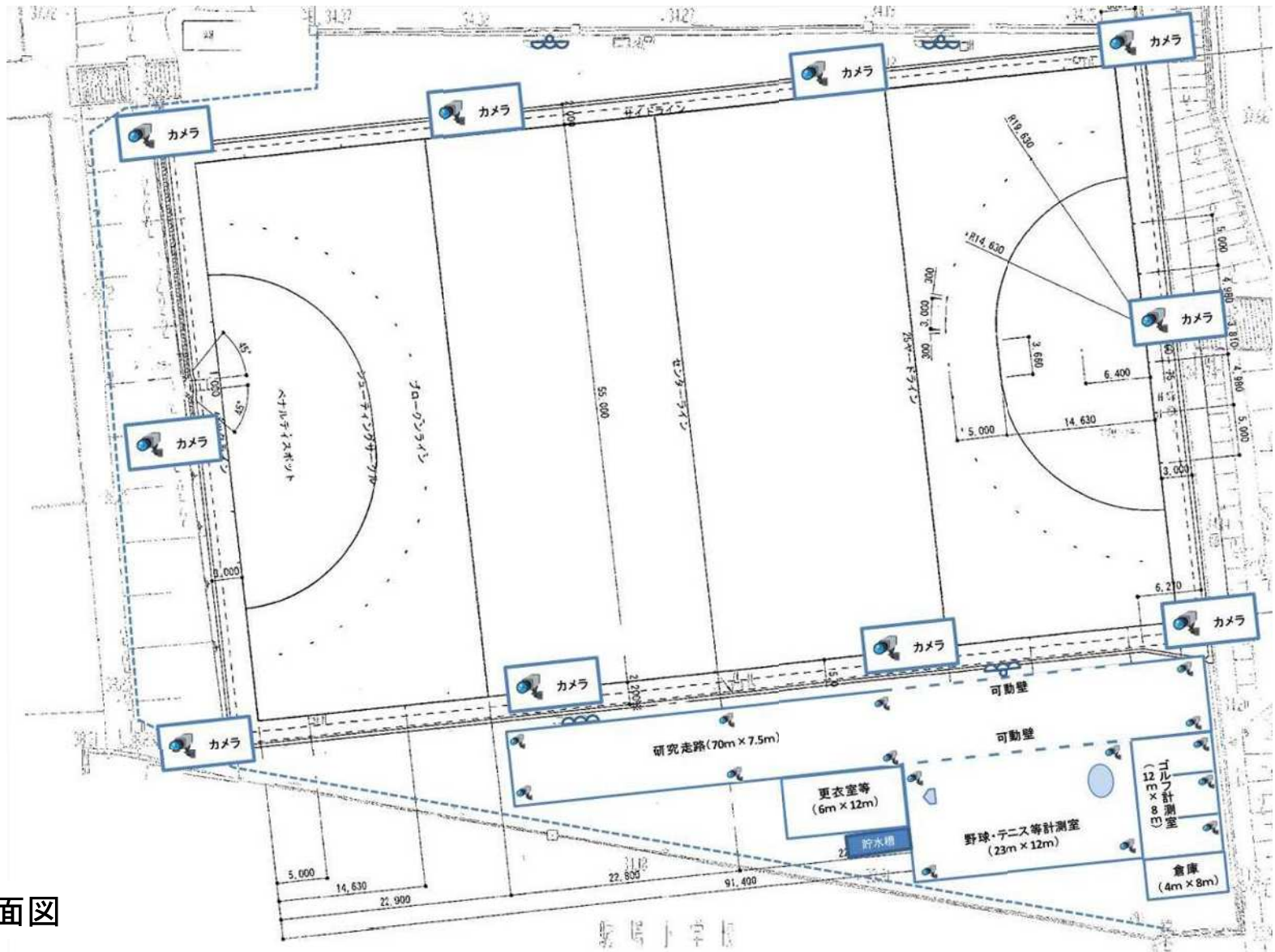
【施設概要】

第2グラウンド（ホッケー場）およびその南側の更地（通称三角地帯）を利用。ホッケー場にはAIを利用した本学独自のモーションキャプチャシステム（VMocap）用のカメラを常設します。三角地帯には、動作解析用走路（アーチェリー射場を兼ねる）、野球、ゴルフなどの測定施設を設置。四方および上面を安全な壁で囲み、モーションキャプチャおよびVMocap用のカメラを固定するためのポール等を設置します。走路・アーチェリー測定施設（70m）には天井を設け、2階部分に分析室を設置します（別添資料）。床面は人工芝とし、適宜床反力計を埋め込めるようにします。また、実技実習や課外活動に利用できる更衣室・ロッカーを併設します。

【財源】

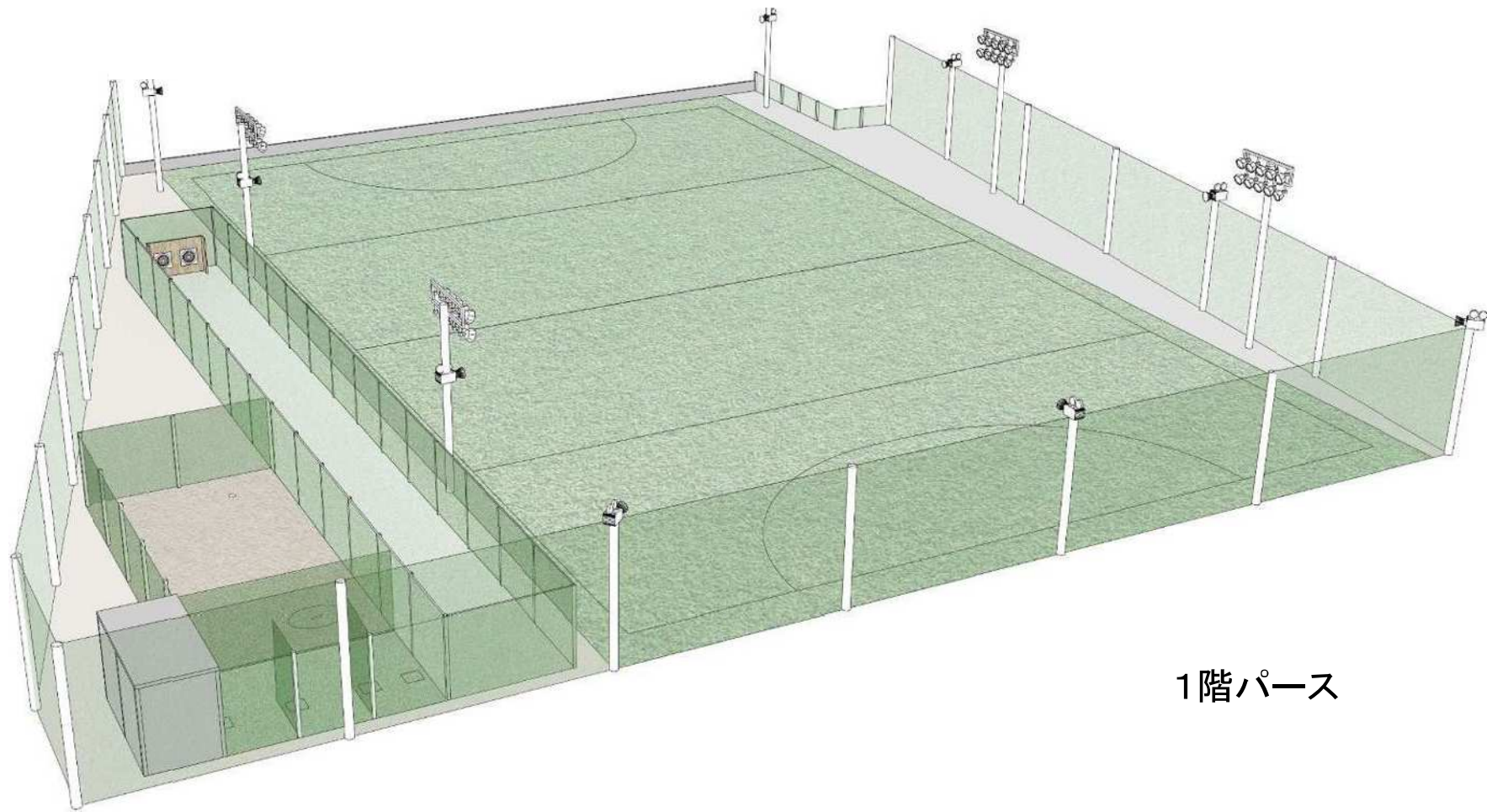
共同研究、奨学寄付金、社会連携講座研究費
東大基金経由の寄附（運動会ホッケー部、アーチェリー部、ゴルフ部等）などを予定しており、研究科予算の措置は不要の見込みです。

UTSSIセンシングフィールド @ 駒場第二グラウンド



平面図

UTSSIセンシングフィールド @ 駒場第二グラウンド



1階パース

UTSSIセンシングフィールド @ 駒場第二グラウンド



2階パース